



Iwate Association for UNICEF

2016年10月
【発行】
岩手県ユニセフ協会
(旧 日本ユニセフ協会岩手県支部)

〒020-0690
岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail: sn.iunicef_iwate@todock.jp
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

岩手県ユニセフ協会設立15周年記念

～とどけよう! 世界の子どもたちに～

ユニセフ平和チャリティーコンサート



▲合同合唱 「翼をください」[大地讃頌]
(県立不来方高校・花巻北中学校・県立花巻南高校・遠野中学校・コーラス四つ葉・響流はなまき・ユニセフボランティア 総勢150名)



▲オープニング(県立花巻農業高校鹿踊二番庭)



▲挨拶 花巻友の会林正文会長



▲来賓挨拶 花巻市上田東一市長



▲花巻市民コーラス・コーラス四つ葉



▲響流はなまき

賢治の里に響きわたる

世界中の幸せのために

2016年7月23日 岩手県ユニセフ協会設立15周年記念「ユニセフ平和チャリティーコンサート」が花巻市文化会館大ホールにおいて、ユニセフ会員・花巻市民870名の参加で開催されました。

この度は気持ちよく歌わせていただき、誠にありがとうございました。
花巻のみなさまは本当にのりが良くて、とても歌いやすかったです。オープニングの「きみ歌えよ」で始まり、次に「さとうきび畑」を歌わせてもらったわけですが、この曲は戦争で亡くなったお父さんをさがすというとても悲しい曲です。自分も初めて歌詞を全部見たときは、とても衝撃的でした。「さとうきび畑」の最後の歌詞は「この悲しみはさえない」です。戦争によって永遠にさえない悲しみを背負っている人たちは、今現在も大勢いらっしゃいます。戦争に限らず、災害や貧困により命を落としてしまい、それによって悲しむ人々もいます。以前私達音楽部の部長さんが先生に「私達はなぜ歌うのか」と質問されたところ、「世界中の人達に幸せを届けるため」とおっしゃっておいりました。世界規模で世界中の人々を助け、支援する活動をしているユニセフさんとはこれからも世界中の幸せのために、一緒に活動していきたいと思ひます。この度は本当にありがとうございました。(不来方高校音楽部1年Bass)

オープニングに登場したのは県立花巻農業高校鹿踊(二番庭)、続いて花巻友の会会長林正文会長の挨拶、上田東一花巻市長の来賓ご挨拶の後、県立不来方高校音楽部へ感謝状を贈呈しました。

～とどけよう! 世界の子どもたちに～第1部は、花巻市民コーラス・コーラス四つ葉、響流はなまきのみなさまの熱唱は感謝をこめて、日頃の練習の成果を存分に発揮し、歌声は会場に響きわたりました。

第2部 特別出演の県立不来方高校音楽部は、全日本合唱コンクール全国大会に22回出場し、金賞16回・銀賞5回・文部科学大臣賞5回受賞し全国トップクラスの実力です。

平和を祈って、さとうきび畑・糸・涙そうそう・愛燦燦など15曲に観客は魅了され、涙する人もいました。

合同合唱では、出演者全員と花巻北中学校・花巻南高校・遠野中学校・ユニセフボランティアスタッフ150名による「翼をください」[大地讃頌]の圧巻の大合唱でした。

「花農の鹿踊り、不来方高校の合唱、とても素晴らしく、感動して聞きました。若い高校生の皆さんのエネルギーをもらい、今日一日、幸せな気持ちになりました。」「初めて聴いたユニセフチャリティーコンサート。素晴らしい!の一言でした。個人でできることを、協力したいと思ひます。」など感想が寄せられました。

最後に会場のみなさまと「宮沢賢治の精神歌」[ふるさと]を歌いました。ご協力いただいたユニセフ募金は108,803円でした。ありがとうございました。

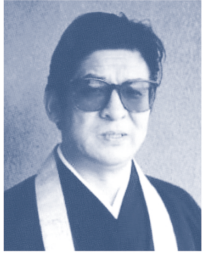


▲感謝状贈呈 県立不来方高校音楽部



▲県立不来方高校音楽部

岩手県ユニセフ協会花巻友の会 会長 林 正文 (花巻市妙圓寺住職)



▲山門に掲げられている兵戈無用(ひょうがむむよう)
「武力も武器もいらない」

宮城県古川市の菅原さんという父の戦友が我が家に尋ねてこれ、「こんな愚かな悲惨な戦争は、二度と繰り返してはいけない。こんな馬鹿な戦争は俺達だけでたくさんだ。平和な世界が来ることを願っているぞ。」ということ息子に伝えてほしいといわれ、来訪されました。

「最後は、飲み水も食べるものもなくなり泥水を飲み、蛇やトカゲを殺して食べたということでした。私たちだけ戦って帰ってきました。申し訳ありませんでした。」と、菅原さんは私に深くと頭をさげました。

菅原さんのお話を聞いて、私にできることは何かという妻とも相談し、日本ユニセフ協会を訪ねて平成元年(1989年)4月1日花巻友の会を岩手県で最初のユニセフ組織として発足することになりました。

宮澤賢治のふるさと花巻からユニセフ精神を世界に発信できることは、私どもにとりましても意義のあることと思ひ、多くのみなさまのご協力・ご支援をいただき28年間の歩みをすすめることができました。

妙圓寺本堂・境内にあふれる平和の思い

江戸時代は寺小屋、明治の初めには花巻で最初の花巻小学校であった妙圓寺(1177年開基)は、1801年に現本堂が建立され花巻地方の教育の向上に寄与。27代住職林正文さんは、次の世代へ平和を手渡す非戦平和への願いから「平和記念館」として一般公開しています。今年2月、広島原爆で被爆した梵鐘が、岩手県被爆者団体協議会名誉会長齋藤政一氏から寄進されました。



▲妙圓寺本堂展示場



▲アンネのバラなど園庭に

妙圓寺では、「花巻賢治の学校」「宮沢賢治児童合唱団」「茶道・謡曲・オカリナ・囲碁教室・コーラス」など多彩な市民活動が開催されており、毎日朝夕の「平和の鐘」を鳴らし続けています。

ネパール支援 2016.9.26



▲ネパール国民民主党タパカマル党首

ネパール支援に関する関係団体連絡会議(県主催)が開催され、メガネの松田会長松田陽二氏の現地報告、JICA、ユニセフ、ユネスコ、ヨーガ療法士会の交流が行われました。日本・ネパール国交60周年記念講演会に来盛中のネパール国民民主党タパカマル党首が同席され、ネパール大地震への支援に感謝を述べられました。

ユニセフ募金贈呈・ユニセフ学習 2016.8.23

洋野町宿戸小学校の募金贈呈と、ユニセフ学習を開催。全校児童96名は、途上国の子どもたちの状況と、マラリヤから子どもたちの命を守る蚊帳について学びました。

一学期にボランティア委員会が取り組んだユニセフ募金14,162円は、県ユニセフ協会から日本ユニセフ協会に送金され途上国の子どもたちのために使われます。



▲洋野町宿戸小学校



東日本大震災復興支援

日本ユニセフ協会の緊急復興支援は、2015年度で終了(CAPワークショップ2016年12月まで)しました。この間の活動についてお知らせいたします。



▲7.1 野田武則釜石市長から感謝状を受ける
日本ユニセフ協会早水研専務理事



▲7.17 平野公三大槌町長ご挨拶
ふれあいサマーコンサート



▲10.1 CAP(子どもへの暴力防止)のプログラムを進めるCAP岩手、CAPリアス、J-CAPTA、日本ユニセフ協会のミーティング。山田町で開催

ユニセフボランティア講座

～ネパールの子どものための今～



▲メガネの松田 松田陽二会長

10月11日、ネパール大地震から1年半、ネパールの子どものための状況を学ぶユニセフボランティア講座を開催し、20名参加しました。メガネの無償提供活動を18年間つづけているメガネの松田陽二会長の見た子どもたちの様子、里帰りしてみたネパールをボランティアスタッフ松原杏寿さんの報告とユニセフのネパール支援活動など、ネパールの子どものための今を学び交流しました。

アフリカ干ばつ緊急募金 にご協力を!!!

栄養不良の
命の危機にさらされる
330万人以上の
子どもたち



今、アフリカ地域では2年に及び異常気象や干ばつにより、最も脆弱な子どもたちの生活に申告な影響を及ぼしています。東部・南部アフリカの10ヶ国だけで2,650万人の子どもたちが影響を受けており、西アフリカも含めた21ヶ国で330万人以上の子どもたちが重度の急性栄養不良に対する治療を必要としています。ユニセフは、アフリカ地域で栄養危機にさらされている子どもたちに支援活動を展開しています。

対象地域: エチオピア、ソマリア、ソマリランド、マラウイ、ジンバブエ、アンゴラ、エリトリア、モザンビーク、マダガスカル、ブルキナファソ、ザンビア、モーリタニア、セネガル、南カーダン、スーダン



© UNICEF/UN032896/Mukwazh

ジンバブエで被害が深刻化

マタベレランド・サウスの村で、畑が干上がって実がならなかった作物を手にするメロディン・デベレさん(13歳)と兄弟たち。(2016年8月25日撮影)

私たちが目指す世界 子どものための「持続可能な開発目標」

～ 2030年までの17のグローバル目標 ～

1. Universality

途上国だけでなく、日本を含めた先進国も目標達成をめざす

2. Equity「公平性」

誰一人として取り残さない格差の是正に焦点

3. 社会・経済・環境面からなる持続可能な開発

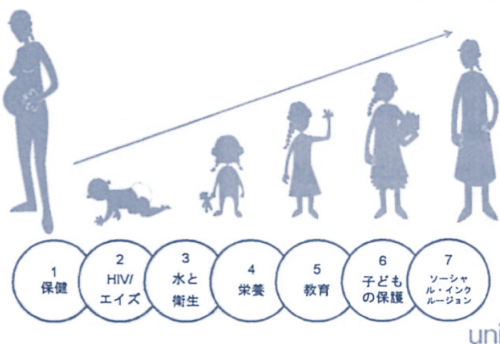
2016年からの15年間で達成すべき
「持続可能な開発のためのグローバル目標」(SDGs)



世界各国の政府や、子どもや若者も参加し、多くの人の協力のもとに目標が決められました

UNICEF Strategic Plan 2014-2017

すべての子どもたちの権利を守るために
生まれる前から 大人になるまで



ユニセフの「2014-2017 中期計画」の重点事項

<ul style="list-style-type: none"> ● 予防接種 ● ポリオの根絶 ● 妊産婦・新生児の保健 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの保健 ● 保健システムの強化 ● 人道支援下での保健 	保健 (5歳未満児の死亡を削減)
<ul style="list-style-type: none"> ● 新生児と幼児の授乳と食事 ● 微量栄養素 ● 栄養とHIV 	<ul style="list-style-type: none"> ● 急性栄養不良とコミュニティによる管理 ● 人道支援下での栄養 	栄養 (栄養を改善し、栄養不足を減らす)
<ul style="list-style-type: none"> ● 女子教育に焦点を置いたエクイティとインクルーシブな(誰もが受け入れられる)教育 	<ul style="list-style-type: none"> ● 早期教育 ● 学習と子どもにやさしい学校 ● 人道支援下での教育 	教育 (男女の差別なく、質の高い教育を提供)
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの保護に関するシステム強化 ● 暴力・搾取・虐待の防止 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもに対する正当な司法 ● 出生登録 ● 家族とコミュニティの強化 ● 人道支援下での子どもの保護 	子どもの保護 (暴力、搾取、育児放棄を防止する)
<ul style="list-style-type: none"> ● 母子感染と男児の割礼の防止 ● HIV/AIDSに影響を受けた幼い子どものケアと治療 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水と衛生 ● 学校や早期ケア施設での水と衛生の確保と衛生教育 ● 人道支援下での水と衛生 	水と衛生、衛生的な環境 (屋外排泄の根絶、安全な飲み水の利用を推進)
<ul style="list-style-type: none"> ● 母子感染と男児の割礼の防止 ● HIV/AIDSに影響を受けた幼い子どものケアと治療 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者とHIV/AIDS ● 子どもと家族の保護と支援 ● 人道支援下でのHIV/AIDS 	HIV/AIDS (HIVの新たな感染を防止し、治療を推進)
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの貧困の分析と社会的保護 ● 人権、非差別、平等な参加 ● 公的な財政の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● ガバナンスと地方分権 ● 人道支援下での社会へのインクルージョン 	社会へのインクルージョン (子どもの貧困と差別を防止する)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 分野横断的な努力を要す 	人道的支援
	<ul style="list-style-type: none"> ● 分野横断的な努力を要す 	ジェンダーの平等

栄養不良から
小さな命を守ろう

第38回ユニセフ
ハンド・イン・ハンド
募金キャンペーン

2016

Hand in Hand

日本全国でボランティア募集中!



Paddington Bear™
© Paddington and Company Ltd 2016
Licensed by © Copyrights Asia

今年度のテーマ「栄養不良」『栄養不良から小さな命を守ろう』というスローガンの下幼い子どもたちの命と未来を守る支援を訴えます。



©UNICEF/UNI182663/Noorani

栄養状態を知るため、上腕の測定を受けるラオスの男の子。世界の子どもたちに栄養と笑顔を届けるために皆さまのご協力をお願いします。世界では、年間約 295 万人の子どもが栄養不良で命を落とし、また 1 億 5900 万人もが、乳幼児期の栄養が足りず、健全な成長を阻まれています。栄養不良の弊害は、命の危機ばかりか知能や発達の遅れにも及び、その後の子どもたちの人生を脅かし続けます。ユニセフは、母子をケアする検診や栄養補給、母乳育児の推進や保健員の養成など、乳幼児の栄養不良の改善に全力で取り組んでいます。



▲2015クロスステラス前

街頭募金活動
ボランティア募集!!

あなたも参加
してみませんか

盛岡会場

12月 3日(土)	12:00~15:00	●イオンモール盛岡
12月10日(土)	12:00~15:00	●カワトク ●イオンモール盛岡南 ●ホットライン肴町 ●クロスステラス ●MOSSビル
12月11日(日)	12:00~15:00	●アネックスカワトク

ボランティア申し込み 岩手県ユニセフ協会 ☎019-687-4460

花巻会場

12月 3日(土)	11:00~12:30	●ビブレ花巻店 ●コープ花巻あうる ●アルテマルカン桜台店 ●イトーヨーカドー花巻店
-----------	-------------	---

ボランティア申し込み 岩手県ユニセフ協会花巻会の会 ☎0198-23-5439

ユニセフ支援ギフト



途上国の子どもたちに、ユニセフの支援物資をプレゼントしませんか。

ユニセフ支援ギフトとは?

ユニセフの支援物資を、途上国の子どもたちにプレゼントするご支援方法です。ワクチン、栄養補給ミルク、毛布などのユニセフの支援物資をご指定ください。ユニセフがあなたに代わって、子どもたちのもとにお届けします。



©UNICEF/UNI181989/Fich



賛助会員として世界の子どもたちを応援してください



ユニセフ日本委員会として、日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー(政策提言)活動を担う日本ユニセフ協会を、年会費によってご支援いただく方法です。会員登録をさせていただき、日本ユニセフ協会の機関誌やさまざまなユニセフの資料を通して、世界の子どもたちのおかれている状況について理解を深めてみませんか。国内で行われるユニセフ協力活動の情報を入手し、さまざまなイベントにご参加ください。

賛助会員の種類・会費・会員期間

種類	対象	賛助会員	賛助会員期間
①一般賛助会員	個人の方	1口 5,000円 <small>※1口以上、何口でもご協力いただけます</small>	入会月~1年間
②学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口 2,000円	入会月~1年間
③団体賛助会員	団体、法人、企業	1口 100,000円	毎年4月~翌年3月までの1年間

あしがき



▲岩手県立不來方高校音楽部のみなさんと、ユニセフボランティアスタッフのみなさん

◆岩手県ユニセフ協会設立15周年記念事業は、3月27日記念式典・東日本大震災ユニセフ緊急復興支援報告・アグネス・チャン大使講演会に続いて、7月23日ユニセフ平和チャリティーコンサートを開催しました。

日本ユニセフ協会東日本大震災緊急復興支援は、2015年度で終了し一つの節目の年となりましたが、これからも沿岸地域とのつながりを大事にしていきたいと思っています。

◆熊本地震、台風10号被害と自然災害に遭われたみなさまには心からお見舞い申し上げます。世界でも地震・洪水など自然災害が後を絶ちません。日頃からの備えの大切さを痛感しています。(事務局)